

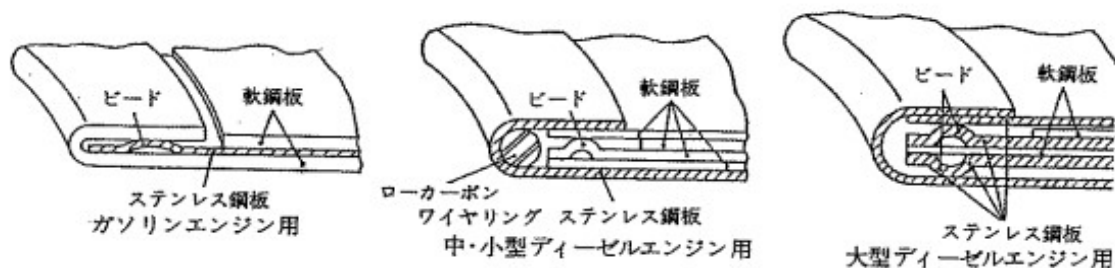
ガスケットの主流

平成1年(1989年)、日刊工業新聞と日本発明協会が主催する発明賞で、我が社は環境にやさしい、スチールラミネート(金属積層形)ガスケットの開発で、第14回発明大賞を受賞した。従来のガスケットの概念をうち破る画期的な発明と認められ、我が社の技術力を世界に示すとともに、現在はガスケットの主流となっている。

スチールラミネートガスケット

エンジンの高性能化により、シール性が高く、経時変化の少ないガスケットが求められてきた。これに対応してスチールを積層したスチールラミネートガスケットを開発し、我が社で最初の実用化した。市場の大部分は我が社の製品が占め、現在でもメイン商品の一つとなっている。

地球環境にやさしい製品ニーズに対応するため、ヘッドガスケットはスチールラミネートガスケットへ、その他のガスケットは米国アームストロング社、ウォルバリン社との共同開発により対応した。この積極的な対応は、日本自動車産業界における環境対応の先駆けとなった。



当社開発の代表的なラミネートガスケット